

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 7年 2月 12日

事業所名 4×4＝16はかせ

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	100%	0%	個室が2室 フロアも広い	
	2 職員の配置数は適切である	100%	0%		
	3 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	50%	50%	事業所内はバリアフリートイレは広い	
業務改善	4 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	75%	25%	日頃の療育を振り返り、改善に向けて情報を共有し合う場を設けている。	
	5 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	100%	0%		放課後等デイサービス事業利用者の保護者向け評価表による評価と公表を実施し、以降を把握し改善に務めてまいります。
	6 この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%		今年度が開所初めての評価となりますが、ホームページ上で公表するとともに、周知に努めます。
	7 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	0%	100%		現在は行っていないが今後導入を検討
	8 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	100%	0%		今後も研修・社内勉強会の機会を設け職員の資質の向上を行います。
適切な支援の提供	9 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	体験後に十分なアセスメントを行い、個別支援計画を作成している。	保護者・子供の視点に立ち支援をより向上出来るように心がけてまいります。
	10 子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	75%	25%		
	11 活動プログラムの立案をチームで行っている	100%	0%	活動を行う時は職員で相談し合って行う。	療育内容で何が子どもにとって今、重要なのか話し合い立案致します
	12 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	療育内容を毎日決めて一人の考えで行わないようにしている。	
	13 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%	その都度課題を考え行っている。	長期休暇ではスケジュールを保護者に配布し毎日プログラムを設定
	14 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%		子どもの現状に合わせて、個別活動と集団活動を組み合わせた放課後等 デイサービス計画 を作成していく
	15 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	100%	0%	朝のミーティングで確認必要に応じて確認しあっている	
	16 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	0%	100%	緊急性の高いもの以外は翌朝に行う	翌朝のミーティングで前日の振り返りを話し合っております
	17 日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	日報に記入する	
18 定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	必要に応じて適宜面談を行ってモニタリングを行っている。必要に応じて児童発達支援計画の見直しを行っている。		
19 ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っている	100%	0%			

関係機関 や保護者 との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	相談支援員と担当職員とで随時直接情報交換や協議を行っている。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	送迎時などに学校での様子やこちらの支援内容を伝えあっている	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0%	100%		対象児童が現在在籍していない
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	100%			情報共有が出来ている子供と出来ていない子供がいる。今後、関係機関との連絡を図っていく
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	50%	50%		対象児童が現在在籍していない
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	50%	50%		今後、関係機関との連携を図っていく
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0%	100%		今後、関係機関との連携を図っていく
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0%	100%		今後、関係機関との連携を図っていく
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%	送迎時に保護者様とお会いして伝えるように心がけています連絡帳やお電話で情報共有しています	
保護者 への説明 責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	0%	100%		研修や本を利用し知識を増やし必要に応じて保護者により良い支援を伝えていきたい
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	契約時に全員に、書面とあわせて説明を行っている。変更があった場合、適宜お知らせしている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	保護者からの相談は随時受け付けており、状況によって対応している。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0%	100%		各家庭事情を配慮して現在は保護者会の活動は行っていませんが今後は保護者会等の開催を検討しております
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	いただいた苦情や申し入れに対しては、迅速かつ適切に対応するようにしている	苦情はありませんが、意見等を頂いた場合は迅速かつ適切に対応していきます
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	イベント表を配布している 活動の様子は写真を送っている	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%		個人情報がかかる書類類は鍵付きの書庫に保管
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%		連絡帳への記入やLINEなどで情報を伝達しています。
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0%	100%		感染予防の観点で外部の方との接触には慎重に期している。

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	100%	0%	定期的に避難訓練を実施	
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	100%	0%	事務所内で人権・虐待研修を行っております	
	41	このまは物口にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	身体拘束を行う必要のある子どもがいない	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	クッキングなどで食物を使用する際は、保護者や職員間で確認を十分に行っている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	100%	0%	ヒヤリハットが発生した場合、事例集を作成する	